

2010年6月22日(火)

9:30 ~ 9:40

CRT 栃木放送

両毛支局にて収録

## 基礎学力を確実に身につけるには

開倫塾

塾長 林 明夫

Q おおずもつ とばく ゆ 大相撲が野球賭博で揺れ動いています。どうしてこうなったのでしょうか。

A (林明夫。以下省略)大相撲の力士たちが相撲ばかりして、勉強が足りなかったからです。やってよいことと悪いことの区別がつかなかったのが原因です。

Q どうしたらよいのでしょうか。

A 新聞を毎日読んで、自分で考える力、批判的思考能力を身につけることです。目の前で起こっていることがら何なのか、批判的に自分の力で考える能力が社会に出るから大切です。いくら相撲が強くても自分で考える力、批判的思考能力が欠けていたのでは話になりません。

Q 成績が低迷し、なかなか学力が身につけません。どうしたらよいのでしょうか。最も大切なこと、まず最初にやるべきことを教えてください。

A Return To Basic (リターン・トゥ・ベイシック)、基本に戻って学校の教科書をスミからスミまで丁寧に勉強することをお勧めします。

Q 教科書はどのようにスミからスミまで勉強するのですか。

A (1)すべての教科書の教科書に書いてあることを、1ページずつ丁寧にゆっくり何回も読んでみる。読むときは声を出して読むことを私はお勧めします。

(2)よく読めない「ことば」や意味のわからない「ことば」があったら、すべて辞書を用いて調べる。辞書を引く。

\* 国語辞典、漢和辞典、英和辞典はいつも手元に置いておくことが大事です。辞書は、紙の辞書でもOKですし、電子辞書でももちろんOKです。

(3)辞書を引いて調べた内容は、必ずメモをしておくこともお勧めします。

教科書に直接書き込む

ノートに書き写す

ポストイットに書き写し、教科書やノートに貼っておく

\* どれを採用するかはご自分の考え次第です。私のお勧めはポストイットに書き写し、まずは教科書に貼っておき、十分に意味がわかり、音読や書き取り練習などでその「ことば」が身についたら、よく整理をしながらノートにそのポストイットを移す。そして、もう何回かその「ことば」を勉強し直す。

(4)教科書に出ている基本問題や練習問題、演習問題はすべて問題も全文ノートに書き写した上で、その下側に解いてみる。

自分の力で解ける問題と解けない問題をはっきりと分けておくことが大事です。

正解を見て、解けた問題には「印」や「OK 印」などをつけておくこと。解けない問題には「印」や「?印」「×印」など自分なりの記号をつけて、できた、できないをはっきりしておくことが大事です。

正解がわからないときは、授業中にとったノートを見直して下さい。どうしてもわからなければ、学校の先生や開倫塾などの学習塾の先生に遠慮なく質問して下さいね。「教科書」ガイドなどを活用するのも一つの方法です。

(5)「地名」が出てきたら必ず「地図帳」を用いて地名を確かめること。「歴史の年号」が出てきたら、教科書のうしろにある「年表」を見て「年号」を確かめること。公民で憲法や法律の「条文」が出てきたら、教科書のうしろにある「条文」を確かめること。条文は必ず声を出して読む、「音読」することをお勧めします。

Q スミからスミまで丁寧に勉強するとは、こういうことなのですね。

A その通りです。以上のような方法で 1 ページから最後のページまでゆっくりとコツコツ勉強することが大事です。

Q 確認テストや定期テストは何のためにあるのですか。

A (1)今まで勉強したことを週ごとに、また、定期的にまとめて身につけるために役に立つからテストはあると私は考えます。一度に全部やるのが学年末テストや入学試験です。

(2)テストがなければ、今まで勉強してきたことをもう一度勉強し直してスミからスミまで身につけようなどとするのはあまりないのではないのでしょうか。

(3)テストがあるおかげで、学力は正確に身につくと私は考えます。

(4)このような意味で、テストで 100 点満点やよい点数を取ることは一度勉強したことをスミからスミまで正確に身につける上でとても大切なことと言えます。

(5)100 点満点やよい点数を取ることはとても素晴らしいこと、よいことだと私は考えます。皆様はどうお考えですか。

- 2010 年 6 月 29 日林明夫記 -